

## 令和2年度「教育活動についてのアンケート」の分析 (9月実施分)

立冬の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、9月に実施しました「教育活動についてのアンケート」の際にはご協力ありがとうございました。その結果と分析等をお知らせいたします。

本校の教育目標である『やさしく思いやりにあふれ、自他の健康安全を心がけ、確かに学ぶ子の育成』の実現に向けて、本年度の重点目標を次のように設定し、これまで取り組んでまいりました。

- 1, 組織的な学校運営 (目標達成に向けて一丸となるチーム学校の構築)
- 2, 確かな学力の育成 (教師の授業力向上と児童の学力向上)
- 3, 豊かな心の育成 (教師の学級経営力向上と児童の人間関係力向上)
- 4, 健やかな体の育成 (児童のたくましく生き抜く力の育成)
- 5, 家庭・地域との連携 (開かれた学校、信頼される学校づくり)



以下、それぞれの項目についてのアンケート結果と分析・今後の方策です。

※記載の％は「1:あてはまる」と「2:どちらかといえばあてはまる」の合計です。

### 1. 組織的な学校運営について

\*( )内の数値は前年度7月のものです。

①(児童)学校は、楽しいですか。	98% (93%)
(保護者)お子さんは、学校に行くことが楽しい。	90% (93%)
(教師)児童が楽しさを感じる学級経営に取り組んでいる。	100% (90%)
多くの児童が、「学校は楽しい」と感じています。これは、自分の成長が感じられる授業や活動、縦割り班などつながりを大切にした取り組みの成果と考えることができます。今後は、より多くの児童に学びの楽しさを感じさせる「授業の工夫」や友達とお互いに高め合うことの楽しさを感じさせる「学級づくり」をさらに進めていきます。	

②(児童)困ったことがあったら、先生に相談できますか。	94% (89%)
(保護者)学校は保護者の方が子どもさんのことで悩んでいるときに相談にのってくれる。	97% (97%)
(教師)児童の困り感や悩みに向き合っている。	100% (90%)
児童・保護者と学校とは相談しやすい関係にあります。これは、日常の様子やアンケートなどをもとに、困り感の見える児童に対して親身に面談や対話をおこなうと同時に、個々の情報や必要な手立てを全職員が共有してきた結果と考えます。今後も家庭と連携しながら、児童の悩みに全職員で対応していきますので、ご相談ください。	

## 2, 確かな学力の育成について

③(児童) 授業は、わかりやすいですか。	97% (95%)
(保護者) お子さんは、学校の授業が分かっている。	91% (90%)
(教師) 分かる・できる授業を工夫している。	100% (90%)

授業理解については、良好と言えます。授業の改善をはじめ、繰り返し学習や間違ったところの直しなど通して、基礎的な学習内容の定着をおこなった成果と考えられます。今後も児童にとって分かりやすい授業を目指していくとともに、個別指導を含め、難しさを感じている児童が一人でも少なくなるよう、きめ細かな対応をおこなっていきます。

④(児童) (低) 宿題を忘れずにしていますか。(高) 学年×10分+10分の家庭学習をしていますか。	98% (95%)
(保護者) お子さんは家庭学習の習慣が身についている。	85% (78%)
(教師) 家庭学習の習慣化を進めるため、家庭学習の手引きを活用し、働きかけている。	89% (91%)

家庭学習に対する児童の意識の高まりが感じられます。しかし、家庭学習の習慣化については、十分定着しているとは言えない児童もあり、保護者の方のアンケート結果にもそれが表れています。今後は、家庭学習に取り組んだことで自分自身のどんな成長があったかを実感できるような工夫をおこなうとともに「もっとやってみたい」「詳しく調べてみたい」という意欲が家庭学習につながるような授業を目指していきます。

## 3, 豊かな心の育成について

⑤(児童) (低) 友達にやさしくしていますか。(高) 友達に対して思いやりの心で行動していますか。	99% (100%)
(保護者) お子さんは、友達に対して思いやりの心で行動している。	95% (96%)
(教師) 道徳の授業を要とした道徳教育を推進し、児童に思いやりの心を育てている。	100% (100%)

「思いやりの心」については良好です。道徳での学びをはじめとして、「みるみるカード」の定着や縦割り班活動などが、児童の見る目(友達の頑張りをキャッチする力)を育て、優しい言葉かけや気配りにつながっているようです。今後も、教師自身が思いやりの行動をキャッチする力を高め、思いやりの心を大切にする学級づくりを進めていきます。

⑥(児童) (低) 自分からだれにでもあいさつしていますか。(高) だれに対しても自分から挨拶をしていますか。	96% (100%)
(保護者) お子さんは、家庭・地域の人に自分から挨拶をしている。	90% (90%)
(教師) 自発的なあいさつを促す場の設定や指導を工夫している。	90% (90%)

6月の学校再開当初は、長期に渡る臨時休業の影響か、あいさつの声も小さく、課題も見られましたが、委員会や高学年児童の自主的な取り組みにより、大きく改善しました。今後も児童の自主的な取り組みを推進する中で、あいさつは相手を思いやり、自らおこなうものという意識を高めていきたいと思えます。

#### 4, 健やかな体の育成について

- ⑦(児童) 体育の時間やほかの時間に体をよく動かしていますか。 95% (99%)  
(保護者) お子さんは、遊んだりスポーツをしたりして日頃から体を動かしている。 88% (93%)  
(教師) 体育の時間やその他の時間の工夫で一人一人に体力の増進に努めている。 100% (100%)

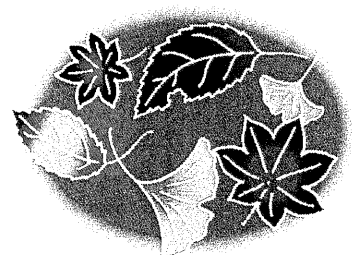
保護者の方からのアンケート結果を見るとコロナ禍による影響(運動不足)も見受けられますが、運動面に関しては良好です。今後も、「体を動かす楽しさ」に加え、目的意識を持って取り組むことで感じられる「できる喜び」や「やり切る喜び」、「自分自身の成長」をより実感させていきたいと思えます。

- ⑧(児童) (低)早寝・早起き・朝ごはんをしていますか。(高)早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活をしていますか。 93% (94%)  
(保護者) お子さんは、規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)を送っている。 88% (92%)  
(教師) 元気カードやノーマディアデーなどの機会を活用して、規則正しい生活を指導している。 100% (89%)

規則正しい生活(生活リズム)については、児童アンケートでは良好と言えそうです。しかし、臨時休業の影響か、生活リズムの乱れを感じていらっしゃる保護者の方は少なくありません。特に、就寝時間が遅い点については記述による指摘が何点かありました。学校では、保健指導等の機会を利用し、具体的な資料を活用して、睡眠の大切さをはじめとした指導をおこないたいと考えています。個別に家庭との連携が必要となる場合もありますので、規則正しい生活の定着に向けて、ご協力をお願いいたします。

- ⑨(児童) 給食を時間内に食べたり、好き嫌いしないで何でも食べたりしていますか。 94% (89%)  
(保護者) お子さんは、好き嫌いなく食事をしている。 77% (86%)  
(教師) 給食を時間通り、残さず食べられるよう意識して指導している。 100% (80%)

学校での残食はほぼ0で、(若干の分量調整はあるものの)多くの児童が好き嫌いしないで何でも食べようとしています。しかし、家庭では、長期に渡る臨時休業の影響か、前年度に比べても好き嫌いが増えているようです。学校としては、バランスのとれた食事の大切さについて指導することで、家庭でも食べられるよう支援できればと思います。



## 5. 家庭・地域との連携について

⑩(児童)お家の人と学校の話をしていきますか。	90% (87%)
(保護者)学校は、教育目標や教育方針、学校の様子を分かりやすく伝えている。	95% (94%)
(教師)おたよりや連絡帳等で児童や学校の様子を随時お知らせしている。	100% (90%)

学校と家庭との情報共有は良好です。家庭で学校での出来事を話す児童は年々増えており、これは、各家庭において親子・家族の会話やふれあいが大切にされていることの表れと言えます。今後もおたよりやホームページの更新など、積極的な情報発信を続けるとともに、家庭での会話のきっかけとなるよう、おたより等の内容を工夫していきたいと思ひます。

### ◎学校関係者評価委員会より (会合で出された意見や質問とそれに対する回答です。一部抜粋)

Q.縦割り班は、よい意味で生きており、それがアンケートの中にも表れている。

- A.毎年クラス分けのないこの規模の学校では、異年齢のつながりはより大切になってくる。高学年が、よい見本となってくれれば、そんな高学年になりたいという気持ちが、他学年の子どもたちに芽生える。芋掘りの活動でも、5年・6年の有志の実行委員が大活躍した。

Q.高学年が低学年に教えるなど、縦割りを授業でも取り入れればどうか。子ども同士の方が、話を集中して聞くこともある。

- A.特別活動等だけではなく、勉強の仕方を下級生に教えるという例もあるので、参考にしていきたい。

Q.すでに学校に馴染んでる高学年と入学してから日の浅い低学年では回答内容に差はあるか。

- A.特に大きな差はないが、本年度は入学式の翌日から臨時休業に入ったため、低学年、特に1年生のことが心配された。しかし、1年生は6月の学校再開時もやる気満々で、比較的短期間で学校生活に馴染んでいった。

Q.寝る時間について、学校から何か指針はあるのか。

- A.学校としては、高学年でも遅くとも午後10時には布団に入ってほしいと考えている。保健の学習でも、健康や成長ホルモン等の関係で睡眠の大切さを学ぶ。新1年生保護者対象の入学説明会では、小学生の睡眠時間は9時間は必要と説明した。(朝6時起床なら、夜9時には就寝)

